

平成29年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	統計調査等業務の最適化事業			担当部局庁	統計局		作成責任者			
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	統計情報システム管理官		管理官 柿原 謙一郎			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	・「電子政府構築計画」(平成15年7月17日各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定) ・「統計調査等業務の業務・システム最適化計画」(平成18年3月31日各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定) ・「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成26年3月25日閣議決定) ・「世界最先端IT 国家創造宣言について」(平成28年5月20日閣議決定)					
主要政策・施策	IT戦略、地方創生			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	統計調査等業務について、情報通信技術の活用とこれに併せた業務等の見直しにより、行政機関の違いを意識させることのない便利で使いやすい統計情報の利用環境を国民に提供するとともに、政府共同利用型のシステムを運用することにより行政運営の簡素化、効率化等の向上を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	従来、各府省等が個々に開発・運用していた統計関係システムを一元化した「政府統計共同利用システム」を構築、運用することで、①各府省等が実施した統計調査結果等のワンストップサービスによる国民等への提供、②セキュリティ対策が十分確保されたオンライン調査システムの国民等への提供、③事業所・企業を対象とする各種統計調査の母集団情報の各府省への提供など、ITを活用した業務・システム改革を実現するとともに、併せて統計調査等業務の共通化・標準化を図る。さらに、同システムの1機能である政府統計の総合窓口(e-Stat)からAPI機能や小地域に特化した統計GIS機能※(JSTAT MAP)を提供するとともに、データベース化した統計データの拡充やオープンデータの最高ランクであるLOD(Linked open data)でのデータ提供など、統計におけるオープンデータの高度化を推進する。 ※ 統計GIS機能:統計データを地図上に表示させ、地理的な分析を視覚的に行うことが可能なシステム									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
		当初予算	826	957	1,145	1,472	984			
		補正予算	249	276	109	0				
		前年度から繰越し	199	249	276	109				
		翌年度へ繰越し	▲ 249	▲ 276	▲ 109	0				
		予備費等	0	0	0	0				
	計	1,025	1,206	1,421	1,581	984				
	執行額	1,000	1,148	1,335						
	執行率(%)	98%	95%	94%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	93%	93%	106%						
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	雑役務費(業務委託費)	1,470	982	政府共同利用システムのシステム更改終了に伴う減 等						
	旅費	1	1							
	物品購入費	1	1							
	計	1,472	984	「新しい日本のための優先課題推進枠」 984						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
	e-Statの統計表へのアクセス件数を平成31年度に8,048万件にする。	e-Statの統計表へのアクセス件数	成果実績	万件	3,762	5,382	6,740	29年度	31年度	
		※API機能(プログラム等によって、統計データを取得可能な機能)による利用件数を含む。	目標値	万件	2,500	3,800	5,848	6,820	8,048	
		達成度	%	150.5	141.6	115.3				
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	政府統計の総合窓口(e-Stat)の統計表ダウンロード件数、APIリクエスト件数									

	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度		
							29年度	30年度	31年度	32年度	
横断的な施策に係る成果目標及び成果実績(アウトカム)	世界最先端IT国家創造宣言(平成28年5月20日閣議決定)にて政府全体でオープンデータを推進することが明記されており、統計分野においても本施策を推進しているため、e-Statから利用可能な統計データを平成31年度に98万表にする。	e-Statから利用可能な統計表及びデータベース化している統計表数	成果実績	万件	66	72	80				
			目標値	万件	-	-	77	86	98		
			達成度	%	-	-	103.9				
IT戦略 関係	算出方法	e-Statより提供している統計表及びデータベース化した統計表の合計	e-Statの登録情報を基に算出								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込			
	e-statの統計表提供数		活動実績	万表	59	64	70				
			当初見込み	万表	56	63	68	75	80		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
	「政府統計共同利用システムの運用経費」/e-Statの統計表へのアクセス件数		単位当たりコスト	円	25	19.7	18.1				
			計算式	千円/千件	939,866/37,623	1,058,806/53,821	1,219,703/67,402	/68,195			
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	VII. 国民生活と安心・安全									
	施策	3. 公的統計の体系的な整備・提供									
	測定指標	定量的指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	30年度	31年度		
		「政府統計の総合窓口(e-Stat)」の統計表へのアクセス件数 <アウトプット指標>	実績値	万件	3,762	5,382	6,740	-	-		
			目標値	万件	2,500	3,800	5,848	-	7,434		
		定量的指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	30年度	31年度		
		LOD(Linked Open Data)のアクセス件数 <アウトプット指標>	実績値	件	-	-	151,566	-	-		
			目標値	件	-	-	17,200	-	315,000		
	定量的指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	30年度	31年度			
	データサイエンス・オンライン講座の受講者数 <アウトプット指標>	実績値	人	-	23,800	37,811	-	-			
目標値		人	-	-	25,200	-	25,200				
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
統計調査等業務の最適化事業を実施することにより、政府統計のポータルサイト「e-Stat」から統計データを一元的に提供することを実現したことに加え、e-Statから提供する統計表や統計データの形式、機能の充実させるなど便利で使いやすい統計情報を提供することで、統計利用者の利便性の向上に寄与する。											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業により、機関の違いを意識させることのない便利で使いやすい統計情報の利用環境を提供することで、国民の統計情報の利便性向上を行っている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	企業等の秘密を含む調査票の情報や市場に影響の与える公表前の統計情報を扱うことから、国が実施する事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、便利で使いやすい統計の利用環境を提供することにより、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上を寄与するものであり、地方創生を支援するものであることから、優先度の高い事業であるといえる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	政府統計共同利用システムの運用については、「独立行政法人統計センター法(平成11年法219号)」、「独立統計法人統計センター年度目標」(平成28年4月1日総務大臣決定)、「公的統計の基本的計画」(平成26年3月25日閣議決定)に基づき、同法人が実施していることから、支出先の選定は妥当であるといえる。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	政府統計共同利用システムは府省共通システムであり、運用に係る経費は、受益者(利用者)である参画府省等と負担分担している。また、分担方法・分担額も各府省等と調整し、合意を得て進めており、負担関係は適切である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	1アクセス当たりのコストを他の専門的情報提供システムの単位当たりコストと比較しても、当該システムの水準は妥当であるといえる。 (参考) 法令検索等システム:46.1円(平成27年度) 政府統計共同利用システム:約19.7円(平成27年度)
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	政府統計共同利用システムの運用については、「独立行政法人統計センター法(平成11年法219号)」、「独立統計法人統計センター年度目標」(平成28年4月1日総務大臣決定)、「公的統計の基本的計画」(平成26年3月25日閣議決定)に基づき、同法人が実施していることから、中間段階での支出は合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途は、政府統計共同利用システムの機器貸借や運用・保守業務など運用に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	本事業は、平成27年度補正予算において、明許繰越しが認められたものであるため、妥当である。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	仮想サーバの導入等、運用経費の低廉のためのシステム構築を採用している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	平成28年度の達成度が115.3であり、成果実績が目標値を上回っていることから、成果実績は見込みに見合ったものであるといえる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	統計調査等業務の最適化事業に基づき、各府省の統計関係の情報システムを集約し、業務処理の共通化、一元化・集中化を行うことで、業務の効率化を実現している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	平成28年度の活動実績が70万表であり、目標値の68万表を上回っていることから、活動実績は見込みに以上のものであるといえる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	平成28年度の統計表のアクセス件数が目標値の5,848万件を超えるなど、常に多くの利用があることから、十分に活用されているものであるといえる。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	「統計調査等業務の最適化事業」は、これまで着実にその実績を伸ばしてきており、今後も安定した実績が期待でき、便利で使いやすい統計の利用環境を提供することにより、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与しているものであるといえる。	
	改善の方向性	引き続き、「政府統計の総合窓口(e-Stat)」の掲載データの充実を図るとともに、API機能や小地域に特化した統計GIS機能(jSTAT MAP)の提供やデータベース化した統計データの拡充やオープンデータの最高ランクであるLOD(Linked open data)でのデータ提供など、統計情報のワンストップサービスの一層の推進及び統計におけるオープンデータの高度化に努める。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検の対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善の

更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善の

引き続き、政府全体の業務・システム化の最適化を図りつつ、「政府統計の総合窓口(e-Stat)」の掲載データの充実や統計情報のワンストップサービスについて、利用者の視点にも留意しつつ、一層推進するとともに、API機能や小地域に特化した統計GIS「JSTAT MAP」の提供、データベース化した統計データの拡充やLODの提供など、統計オープンデータの高度化を推進する。

備考

・統計調査等業務の業務・システム最適化と政府統計共同利用システム
<http://www.stat.go.jp/info/guide/public/index.htm>

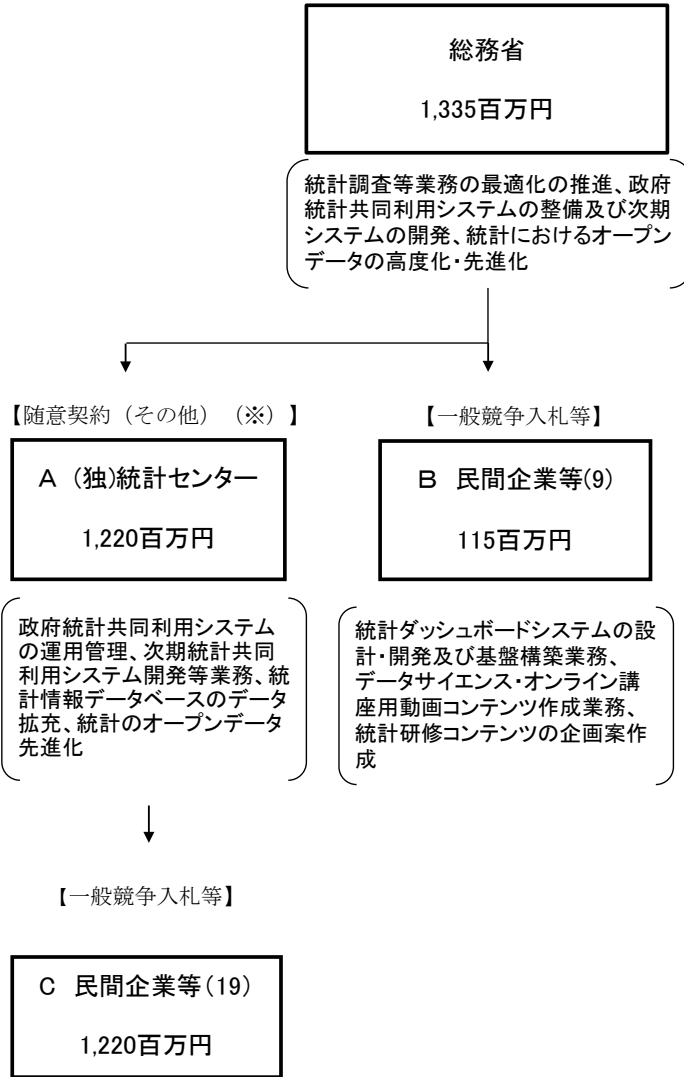
・統計におけるオープンデータの高度化
<http://www.stat.go.jp/info/kouhou/opendata/index.htm>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0161	平成23年度	0162	平成24年度	0154	/
平成25年度	0153	平成26年度	0152	平成27年度	0148	
平成28年度	0143					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



※ 政府統計共同利用システムの運用管理については、「独立行政法人統計センター法(平成11年法219号)」、「独立行政法人統計センター年度目標」(平成28年4月1日総務大臣決定)、「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成26年3月25日閣議決定)等に基づき、同法人が行うこととなっているため。

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (独)統計センター			B. 沖電気工業(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	政府統計共同利用システムの運用管理、次期統計共同利用システム開発等業務、統計情報データベースのデータ拡充、統計のオープンデータ先進化	1,220	雑役務費	統計ダッシュボードシステムの設計・開発及び基盤構築業務	58
計		1,220	計		58
C. 沖電気工業(株)			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	次期政府統計共同利用システムの設計、開発等業務	438			
雑役務費	次期政府統計共同利用システム基盤機能等提供業務	236			
雑役務費	統計GIS機能の運用保守業務	23			
雑役務費	次世代統計利用システム用機器の導入等	8			
雑役務費	セキュリティ認証装置(ワンタイムパスワードトークン)の借入及び認証アプリケーション等の改修等業務	8			
計		713	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(独)統計センター	7011105002089	統計調査等業務の最適化の推進、政府統計共同利用システムの整備及び次期システムの開発、統計におけるオープンデータの高度化・先進化	1,220	随意契約 (その他)	1	100%	政府統計共同利用システムの運用管理については、「独立行政法人統計センター法(平成11年法219号)」、「独立行政法人統計センター年度目標」(平成28年4月1日総務大臣決定)、「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成26年3月25日閣議決定)等に基づき、同法人が行うこととなっているため。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖電気工業株式会社	7010401006126	統計ダッシュボードシステムの設計・開発及び基盤構築業務	58	一般競争契約 (最低価格)	4	64.4%	
2	アライド・ブレインズ株式会社	9010001093298	総務省統計局ホームページの政府共通プラットフォームへの移行、CMS導入及びリニューアルに係る事前準備業務	22	一般競争契約 (最低価格)	2	82.2%	
3	ASロカス株式会社	1010001022850	平成26年経済センサス-基礎調査の町丁・大字境界データの作成業務	11	一般競争契約 (最低価格)	8	76.1%	
4	株式会社NTTドコモ	1010001067912	「データサイエンス・オンライン講座 応用編講座」の構築に係る講座用動画コンテンツ等の作成業務	8	随意契約 (企画競争)	4	100%	
5	株式会社パスコ	5013201004656	国及び地方公共団体職員向け統計研修コンテンツの企画案の作成及び開発等業務	7	随意契約 (企画競争)	2	100%	
6	(財)統計情報研究開発センター	1010005018944	平成26年経済センサス-基礎調査に関する地域メッシュ統計の編成に使用する同定データ作成業務	3	一般競争契約 (最低価格)	5	24.2%	
7	株式会社ブレインパッド	5010701015274	「データサイエンス・オンライン講座」(実践編)の対面授業の請負	1	随意契約 (少額)	-	-	
8	株式会社NTTドコモ	1010001067912	データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の開講に係るプラットフォームの提供	1	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖電気工業(株)	7010401006126	次期政府統計共同利用システムの設計、開発等業務	438	一般競争契約 (総合評価)	2	93.6%	
2	沖電気工業(株)	7010401006126	政府統計共同利用システム基盤機能等提供業務	236	一般競争契約 (総合評価)	2	80%	
3	芙蓉総合リース(株)	3010001028689	政府統計共同利用システム基盤機能等提供業務	194	一般競争契約 (総合評価)	2	80%	
4	(株)日立製作所	7010001008844	政府統計共同利用システム運用・保守	194	一般競争契約 (総合評価)	1	100%	
5	(株)日立製作所	7010001008844	統計LOD等によるデータ提供の推進	42	一般競争契約 (総合評価)	1	99.8%	
6	キャンビズアテンダ株式会社	4010701026124	統計情報データベースのデータ拡充	38	一般競争契約 (最低価格)	4	62.3%	
7	キャンビズアテンダ株式会社	4010701026124	統計情報データベースのデータ拡充(2)	25	一般競争契約 (最低価格)	2	95.9%	
8	沖電気工業(株)	7010401006126	統計GIS機能の運用保守業務	23	随意契約 (その他)	1	-	
9	沖電気工業(株)	7010401006126	次世代統計利用システム用機器の導入等	8	一般競争契約 (最低価格)	1	80.4%	
10	芙蓉総合リース(株)	3010001028689	セキュリティ認証装置(ワンタイムパスワードトークン)の借入及び認証アプリケーション等の改修等業務	8	一般競争契約 (最低価格)	2	83.8%	

11	株式会社アズジェン ト	7010001035673	政府統計共同利用システム 情報セキュリティ監査業 務	6	一般競争契約 (最低価格)	2	84.7%	
----	----------------	---------------	----------------------------------	---	------------------	---	-------	--